



2024年11月6日

各位

会社名 田辺工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 水澤 文雄
(コード番号：1828 東証スタンダード)
問合せ先 取締役兼常務執行役員管理部長 権守 勇一
(TEL 025-545-6500)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2030年3月期を最終事業年度とする中期経営計画を策定し、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社グループは、「お客様・従業員・株主・業務関係者そして社会の、みんなに喜ばれる親切で確かな仕事をしよう」を社是に掲げ、技術力によるお客様の「ものづくり」への貢献を通じ、社会の発展に貢献することを経営理念として事業を展開しております。

中長期の経営戦略・経営計画につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大や、半導体部品をはじめとするサプライチェーンの混乱、世界的な地政学リスクなどの業績に影響を及ぼし得る要因が多様化・複雑化している状況下においては、具体的な数値目標等の公表には慎重を期すべきとの考えに基づき、対外的な公表は行ってまいりませんでした。

こうした背景があった中で、(a) コロナ禍の収束による社会経済の正常化、(b) 現行計画における数値目標が堅調に推移、(c) 資本コスト・株価を意識した経営等の社会的要請の高まりといった現在の状況に鑑みると、当社の目指すべき方向性や具体的な目標数値を社内外に示すことが重要であると判断し、新中期経営計画を策定・開示することといたしました。

2. 基本方針

(1) 安定収益基盤の確保

大型 EPC 案件の拡大や、分野的・地理的な側面からの能動営業の強化等の施策により、主力事業の安定的かつ着実な成長・拡大および収益力の向上を図る。

(2) 新たな成長戦略の確立

海外事業の売上拡大・収益改善、および時流の変化や先端領域を捉えた新規事業の探索等を通じて、中長期的なビジョンに基づく新たな成長基盤の確立を加速する。

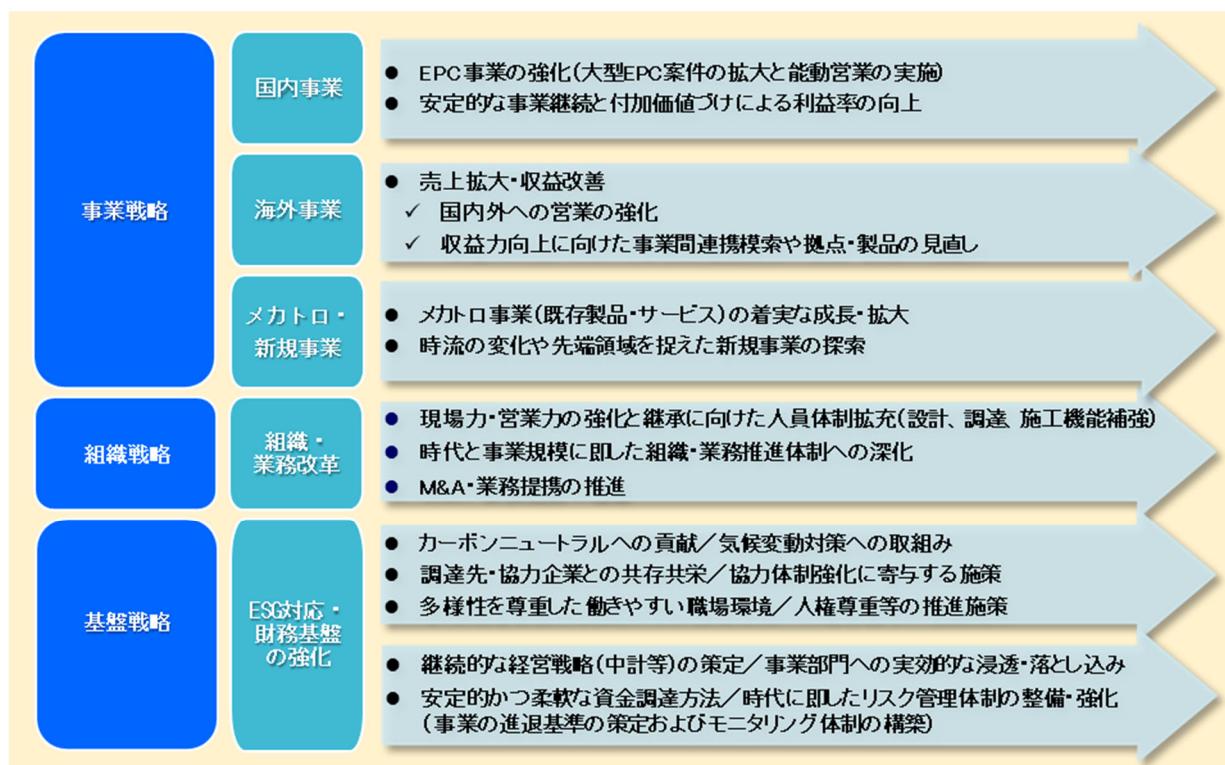
(3) 組織・業務改革

事業戦略を強固に底支えする経営基盤の確立に向けて、サステナビリティに係る社会的要請やデジタル社会の進展等の観点をふまえた組織・業務体制の改革を推進する。

(4) サステナビリティ戦略

環境・社会・ガバナンスの各領域における個別施策の推進により、「安心・安全・豊かなサステナブル社会の実現」に貢献する。

3. 重点戦略の概要



4. 経営数値目標

新中期経営計画の最終事業年度である2030年3月期において、以下の数値目標（連結）の達成を目指します。

	2024年3月期 (実績)	2027年3月期 (計画)	2030年3月期 (計画)
売上高	51,842 百万円	55,000 百万円	70,000 百万円
営業利益	2,677 百万円	3,900 百万円	5,600 百万円
営業利益率	5.2 %	7 %以上	8 %以上
ROE	8.7 %	10 %以上	12 %以上

コーポレートスローガン「ものづくりのための、モノづくり。」のもと、中期経営計画の推進を通じて、エンジニアリングによる産業社会・地域社会の発展に貢献するとともに、ひいては当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値の向上に資するよう取り組んでまいります。

※ 中期経営計画の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。また、同資料は当社ホームページ (<https://www.tanabe-ind.co.jp/>) の「IR情報」において開示いたします。

以上